

東久留米 水辺の生きもの研究会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

落合川魚類調査



2010年1月30、31日の2日間、冬の調査を実施しました。

落合川の魚類調査をはじめて丸三年。同じ場所を継続して調査していると新しい発見もあります。

今回は、上流部の工事で水がにごついたためか、いつもは捕らえにくい種類の魚もタモ網でよく捕れました。また、えら病(水質悪化が原因の病気)に罹っている個体もいくつか確認しました。水草のナガエミクリもすいぶん減ってしまった印象を受けました。

会のホームページもぜひご覧ください。

[http://www.geocities.jp/
higashikurume_mizubeken/](http://www.geocities.jp/higashikurume_mizubeken/)



オイカワ



ホトケドジョウ
“湧水の指標種”で絶滅危惧種に指定されている。
落合川で上流部に多い。



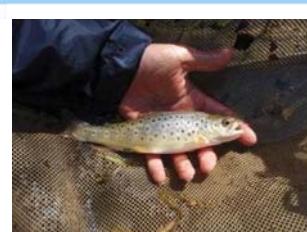
サンエトンボ科のヤゴ
落合川では少ないながらも、12、3種ほどのトンボが見られる。



ドジョウ



シマドジョウ



ブラウントラウト
ヨーロッパ原産の外来種。
人間の手で放流されたもの。
在来の生きものに悪影響を与えて
いる可能性がある。